

## 原 著

新人保健師の経験の質と振り返りに向けた  
プリセプターの関わり

木嶋彩乃, 守田孝恵

山口大学大学院医学系研究科地域・老年看護学 宇部市南小串1丁目1-1 (〒755-8505)

Key words : 現任教育, 職場内教育, リフレクション, 新人保健師, プリセプター

## 和文抄録

本研究の目的は, 新人保健師の経験の質と振り返りに向けたプリセプターの関わりを明らかにすることである。A県のプリセプター経験のある市町村保健師12名を対象にフォーカスグループインタビューを行った。収集したデータを質的記述的に分析した。

その結果, 新人保健師の経験の質を高める関わりは【実践を通して保健師活動を伝承する】【新人保健師の経験値を増やす】【新人保健師の実践の過程をサポートする】【新人保健師の実践を見守る】で構成された。また経験の振り返りに向けた関わりは【振り返りを促す環境づくりを行う】【実践内容を想起させる】【新人保健師のアセスメントの思考を促す】【望ましい保健師活動に近づける】【新人保健師の実践に対する意味付けを行う】で構成されていた。プリセプターは新人保健師に対し, 保健師活動の実践場面を共有し, 理解度の確認や言語化して伝えることが重要である。また新人保健師の主体的なりフレクションを促す関わりの必要性が示唆された。

## I. 緒言

行政保健師は, 日本国憲法第25条の生存権を根拠に, 人々の基本的権利である健康を保持増進するために, 保健・医療・福祉・介護等の住民サービスの充実を図っている<sup>1)</sup>。近年, 社会環境の変化により,

国民のニーズや健康課題が多様化・複雑化したことで, 市町村が担う対人保健サービスの役割が多様化した。そのため, 新人保健師は専門的知識や能力や行政能力など幅広い能力をなるべく早く身に付けることが求められるが<sup>2)</sup>, 新人保健師自身は, 自信のなさという不安定さや<sup>3)</sup>, 業務の多様性により達成感を得にくいと感じている<sup>4)</sup>。

2002(平成14)年の厚生労働省による地域保健従事者の現任教育の実態調査により, 新人保健師の実践能力の低下や職場への適応困難等の課題が明らかとなり, 保健師の現任教育強化体制の基本的な考え方が示された<sup>2, 5)</sup>。2011(平成21)年の保健師助産師看護師法改正により, 新人看護職員の臨床研修が努力義務化され「新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～」<sup>6)</sup>により教育プログラム作成の指標となる新人保健師の1年目の到達目標が示された。また, 2016(平成28)年には各保健師の能力の獲得状況を把握できるように能力の成長過程を段階別に整理した自治体保健師の標準的なキャリアラダー<sup>7)</sup>が示された。しかし, 新人保健師の獲得すべき能力や成長過程は示されたものの, 職場内教育について標準化されたものは示されておらず, 現任教育プログラムやマニュアルがある自治体は52.1%にとどまっている<sup>8)</sup>。このような状況からも職場内教育の体制整備が求められる。職場内教育体制の一つとして, 指導を担当するプリセプター制があり, 全国でプリセプターによる指導を受けた経験者は52.8%と過半数を超え, 24歳以下は87.7%であり<sup>8)</sup>, 導入している自治体が近年増加傾向にあることが伺える。一方,

2006 (平成18) 年に指導者に対する人材育成の在り方が示された<sup>9)</sup>が、組織的な育成は26.9%という報告<sup>10)</sup>などプリセプターに対する教育体系は普及していない現状にある。さらに、プリセプターは時間的な余裕のなさや適切な方法が見いだしづらい<sup>11, 12)</sup>などの報告もあることから、教育方法の具体化が必要と考えられる。

保健師の人材育成の基盤として自己内省力、リフレクションによって実践能力は向上すると言われて<sup>13)</sup>いる。教育哲学者のDeweyは、リフレクションの中心は経験であり、経験をリフレクティブ思考のプロセスを通して学習することによって、人の理解力、思考力は向上し、磨かれ成長すると述べている<sup>14)</sup>。つまり、どのように経験をするかという経験の質と、振り返り経験から学ぶことの両方がリフレクションには重要である。しかし、新人保健師がどのようにリフレクションを行っているか明らかされていない。また日常業務における意識的な職場内の関わりが新人保健師の実践能力向上に効果があることが指摘され<sup>4)</sup>、職場内の関わりも重要であるが、日常的にどのような関わりが行われているかはほとんど明らかにされていない。そこで、本研究では、新人保健師の経験の質を高めるためにどのような関わりを行っているのか、また振り返りに向けてどのような関わりを行っているのかという視点から、プリセプターの新人保健師に対する関わりについて明らかにすることを目的とした。本研究の結果は新人保健師のリフレクションを促す職場内教育の検討の一助となると考えられる。

## II. 研究方法

### 1. 研究デザイン

本研究は、質的記述的デザインである。

### 2. 用語の定義

プリセプターは、新人保健師の指導的役割を担う先輩保健師とした。新人保健師は保健師経験1年目の保健師とした。本研究ではリフレクションの定義を「実践を記述・描写、分析、評価するために、また実践から学習の情報を得るために、実践の経験を振り返り吟味するプロセス」<sup>15)</sup>とした。

### 3. 研究参加者

研究参加者は、行政保健師の経験年数が5年以上

で、プリセプター経験のある者とした。対象者の選定は、まずA県市町保健師研究協議会を介して、A県全市町に対して協力依頼文書を送付し協力者を募った。協力の得られた保健師と所属長に依頼文書を通じて研究内容の詳細を説明し、口頭及び書面にて同意を得られた者12名を対象とした。

### 4. データ収集方法

データ収集期間は平成29年6月～8月で場所は対象者の所属機関、研究者の所属機関の研究室においてプライバシーを確保できる部屋で行った。フォーカスグループインタビューを4グループ(1グループあたり3名)に対し1回ずつ行った。プリセプターを経験後時間が経過している協力者もいることから想起しやすくするためにはグループインタビューが適していると考えた。研究参加者が新人保健師に対し実践能力向上のために「どのように保健師活動を体験させているか」、「経験を振り返り、意味づけを行うためにどのような関わりを行っているか」などについて尋ねた。信頼関係の形成と中立性の維持に配慮し、同意を得てICレコーダーに記録した。インタビュー時間は、平均1時間21分であった。

### 5. 分析方法

インタビューの音源から、逐語録を作成した。逐語録から、「新人保健師が保健師活動を体験していくにあたりどのような関わりを行っているか」、また「実践経験を振り返るにあたりどのような関わりを行っているか」という視点で、該当と考えられる箇所を意味のまとまりごとに抽出しコード化した。コードを比較し、複数の類似したコードを集めてラベル名をつけ、サブカテゴリー、カテゴリーと抽象度を上げながら作成した。分析過程では、複数の経験豊富な保健師間で検討を重ね、地域看護学の専門家から助言を得ながら実施した。また研究参加者に結果を読んでいただき分析の妥当性を確認し、信頼性の確保に努めた。

### 6. 倫理的配慮

対象者に研究の目的と方法、研究の参加および中絶の自由、匿名性の確保、データは研究以外に使用しないこと等を書面および口頭で説明するとともに、研究参加の意思を確認し同意書により承諾を得た。インタビューのデータは逐語録にした際にナンバーをつけ匿名性を確保し、データは厳重に管理した。本研究の実施に際し、山口大学大学院医学系研

究科保健学専攻医学系研究倫理審査委員会の承認を得た（平成29年4月26日，管理番号438）。

### Ⅲ. 研究結果

#### 1. 対象者の概要

研究参加者12名の平均年齢は43.3歳，保健師経験年数は20.5年（最小14年，最大29年），全員女性であった。インタビュー当時も新人保健師のプリセプターを担当しているものは9名であった。所属部署は，保健部門は11名（うち地区担当1名，業務分担3名，地区・業務併用7名），高齢者福祉部門1名であっ

た。自治体の人口規模は1万人未満2名，1～5万人1名，5～10万人3名，10～20万人6名であった。

#### 2. 新人保健師の経験の質を高める関わり

カテゴリーを【 】, サブカテゴリーを《 》, コードを〈 〉, 研究参加者の語りを斜字で「 」を用いて説明する。

50のコードから，15のサブカテゴリー，4カテゴリーが作成された（表1）。

##### (1) 【実践を通して保健師活動を伝承する】

プリセプターは〈住民組織とのコミュニケーションの取り方を具体例を示して伝える〉など《事例を示してプリセプターの活動を伝える》, 〈地域の関

表1 新人保健師の経験の質を高める関わり

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
実践を通して保健師活動を伝承する	事例を示してプリセプターの活動を伝える	プリセプター自身の事例の支援経験を話す 住民組織とのコミュニケーションの取り方を具体例を示して伝える
	行動を共にしてプリセプターの活動を見せる	見られていることを意識して行動する プリセプターの電話対応の様子を見せる プリセプターの訪問に同行させ実際を見せる プリセプターの事業運営を見せる プリセプターの地区活動を見せる 地域の関係機関へ関わる順序と根回しの実際を見せる 住民組織から地域の情報を把握する実際を見せる
	他の保健師の活動を見る機会をつくる	他の保健師の訪問に同行をお願いするよう助言する 担当以外の事業にも見学、参加するように声をかける
	プリセプターの活動に対する理解度を確認する	同行訪問の帰りにプリセプターの動きの意図が分かったかどうか確認する
	プリセプターの活動における意図を伝える	同行訪問の帰りにプリセプターの動きの意図を伝える 地区活動におけるプリセプターの動きの意図を伝える
新人保健師の経験値を増やす	新人保健師の活動を把握する	業務の進捗状況を把握する 今後の業務の必要性を確認する
	新人保健師が実施可能な業務を与える	ハイリスクではない乳児訪問など一般的なを経験する機会をつくる 新人保健師が捉えた地域の課題への対応を挑戦させる
	地域に向く機会をつくる	地域住民が集まる機会への参加を促す 地域の関係機関・他職種が集まる場への参加を促す
新人保健師の実践の過程をサポートする	個別支援の準備性を高める	電話をかける前に話の進め方を一緒に考える 訪問の優先順位について一緒に考える 訪問に必要な準備を考えさせる 訪問先で聞く内容について一緒に考える 訪問先での観察の視点を一緒に考える 訪問先で確認することを引き出す方法を一緒に考える 訪問後の対応方法を一緒に考える
	事業企画・運営の準備性を高める	事業の企画は新人保健師の主体性を尊重する 企画の段階から相談するよう声掛ける 事業の企画内容について話し合う 事業関係の書類を一通り確認する 事業の目的と内容の整合性を確認する 事業の内容について住民の視点で考えさせる 事業において住民組織と協働する方法について助言する 地域の課題と連動させて事業を企画するように伝える
	地区活動の橋渡しを行う	新人保健師の担当地区の前任の保健師と連携をとり引き継ぐ 新人保健師の担当地区の住民組織へ一緒に挨拶まわりをする 地域の関係機関と一緒に挨拶まわりをする 地域の関係機関との人脈を新人保健師につなぐ
	地区活動の意義を伝える	地域に向くことの意義を伝える 住民組織と連携・協働する意義を伝える 地域の関係機関との連携・協働の意義を伝える
	新人保健師の実践を見守る	電話対応中に見守る
訪問の実施を見守る		最初は訪問に同行する 困難ケースの場合は同行する 訪問先で状況に応じてサポートする
事業の実施を見守る		新人保健師が実施している事業を見る 新人保健師が実施している事業に参加している住民の様子を観察する 新人保健師が実施している事業の評価をする

結果の「新人保健師の経験の質を高める関わり」を示している。

係機関へ関わる順序と根回しの実際を見せる) など《行動を共にしてプリセプターの活動を見せる》ようにしていた。また、自分の活動だけでなく〈担当以外の事業にも見学, 参加するように声をかける〉など《他の保健師の活動を見る機会をつくる》ようにしていた。そして〈同行訪問の帰りにプリセプターの動きの意図が分かったかどうか確認する〉など《プリセプターの活動における理解度を確認する》ようにし、〈同行訪問におけるプリセプターの動きの意図を伝える〉など《プリセプターの活動における意図を伝える》ようにしていた。

「実際にネットワークを一緒に動かして行って、つなげ方ですかね。こういう風にお問い合わせとか、ここに行くまでにはここを動かすとか見せています。」

#### (2) 【新人保健師の経験値を増やす】

プリセプターは〈今後の業務の必要性を確認する〉など《新人保健師の活動を把握する》ようにしていた。〈新人保健師が捉えた地域の課題への対応を挑戦させる〉など《新人保健師が実施可能な業務を与える》ようにしたり、〈地域の関係機関・他職種が集まる場への参加を促す〉など《地域に出向く機会をつくる》ようにしたりして経験値を増やす関わりを行っていた。

「療育相談会とか色々な専門職が来る場につかせたりとか、そういう所に出向くようにさせますね。」

色々な専門職の見立てをきくことで、保健師としてのアンテナも高くなるので。」

#### (3) 【新人保健師の実践の過程をサポートする】

プリセプターは〈訪問先での観察の視点を一緒に考える〉など《個別支援の準備性を高める》ようにし、〈地域の課題と連動させて事業を企画するように伝える〉など《事業企画・運営の準備性を高める》ようにしていた。さらに〈新人保健師の担当地区の住民組織へ一緒に挨拶まわりをする〉など《地区活動の橋渡しを行う》などし、その際には〈住民組織と連携・協働する意義を伝える〉など《地区活動の意義を伝える》ようにしていた。

「その地域の課題を解決するために事業付けがあるのよと。教室の運営だけしか見えてなくて、地域に関わっていく視点が抜けていたりするので。」

#### (4) 【新人保健師の実践を見守る】

プリセプターは〈電話対応中にサポートする〉など《電話対応中に見守る》、〈困難ケースの場合は同行する〉など《訪問の実践を見守る》ようにしていた。〈新人保健師が実施している事業に参加している住民の様子を観察する〉など《事業の実践を見守る》ようにしていた。

「(新人保健師が) 3つの地区を担当して健康教室をやっているんですけど、その1回目ずつについて見せてもらっています。」

表2 新人保健師の振り返りに向けた関わり

カテゴリ	サブカテゴリ	コード
振り返りを促す環境づくりを行う	話しやすい環境づくりを行う	いつでも話しかけて良いことを伝える 事務所の席の配置を新人保健師と隣同士にする プリセプターから話しかける
	話す時間を作り出す	事務所内でお昼休みに話す 事務所内で仕事終わりに話す 移動中の車の中で話す
実践内容を想起させる	実践直後に内容を共有する	訪問後に報告をするように促す 事業実施後に報告をするように促す 同行訪問後に見聞きした内容を確認し合う
	記録を通して実践内容を共有する	事業記録を見ながら内容を確認する 訪問記録を見ながら内容を確認する
新人保健師のアセスメントの思考を促す	アセスメントを確認する	アセスメントの内容を確認する 今後を予測したアセスメントになっているか確認する
	新人保健師自身にアセスメントを考えさせる	プリセプターの考えを言う前にアセスメントを考えさせる アセスメントの根拠を説明させる
	アセスメントのプリセプターの思考を共有する	アセスメントの視点について具体例を示して助言する 共に見た場面を通してアセスメントの視点を助言する 新人保健師に対するプリセプターの問いかけの意図を伝える
望ましい保健師活動に近づける	新人保健師の活動を評価する 新人保健師の活動における改善点を伝える	新人保健師の活動で良かった所を伝える 不足している情報や知識を伝える 電話対応の改善点を伝える 事業の改善点を伝える
新人保健師の実践に対する意味づけを行う	新人保健師の個別支援に対する意味づけを行う 新人保健師が実施している事業と地域づくりの関連を意味づける	新人保健師に対する住民の反応について解釈する 今取り組んでいる事業がどの施策に繋がっているのか伝える 担当する事業と他の事業との関連を伝える 事業を今後の地域づくりへつなげて考えるよう伝える

結果の「新人保健師の振り返りに向けた関わり」を示している。

### 3. 新人保健師の振り返りに向けた関わり

16のコードから、11サブカテゴリ、5カテゴリが生成された(表2)。

#### (1) 【振り返りを促す環境づくりを行う】

プリセプターは〈事務所の席の配置を新人保健師と隣同士にする〉など《話しやすい環境づくりを行う》ようにしていた。加えて〈移動中の車の中で話す〉など《話す時間を作り出す》ようにしていた。「業務とか事業の振り返りっていうのは、やはり事務室で隣同士でやっているリアリティがあるというか、色々なことが伝わりやすいという気がします。」

#### (2) 【実践内容を想起させる】

プリセプターは〈訪問後に報告するように促す〉など保健師活動について《実践直後に内容を共有する》ようにしたり、〈事業記録を見ながら内容を確認する〉など《記録を通して実践内容を共有する》ようにしたりして実践内容を想起させていた。

「事業の報告とか会議の報告とか記録物を見るときに、こうだったねという話をしますかね、あと記録を書く前に、ああいうことがあったね、こういうことを報告したらいいよねと話して。」

#### (3) 【新人保健師のアセスメントの思考を促す】

プリセプターは〈今後を予測したアセスメントになっているか確認する〉など《アセスメントを確認する》ようにし、その際には〈プリセプターの考えを言う前にアセスメントを考えさせる〉、〈アセスメントの根拠を説明させる〉というように《新人保健師自身にアセスメントを考えさせる》ようにしていた。また〈共に見た場面を通してアセスメントの視点を助言する〉など《アセスメントのプリセプターの思考を共有する》ようにしていた。

「このケースは継続か、終了かという相談がありますね。じゃあフォローするならどうするの?って。終了っていえば終了する理由とか聞きます。」

#### (4) 【望ましい保健師活動に近づける】

プリセプターは〈新人保健師の活動で良かった所を伝える〉というように《新人保健師の活動を評価する》こと、〈事業の改善点を伝える〉など《新人保健師の活動における改善点を伝える》ようにし、望ましい保健師活動に近づける関わりを行っていた。

「そういう対応の仕方良かったよっていうのは返しますね。できているところは自信をつけてもらう

というところもありますね。」

#### (5) 【新人保健師の実践に対する意味づけを行う】

プリセプターは〈新人保健師に対する住民の反応について解釈する〉というように《新人保健師の個別支援に対する意味づけを行う》ようにしていた。また〈今取り組んでいる事業がどの施策に繋がっているか伝える〉など《新人保健師が実施している事業と地域づくりの関連を意味づける》ようにしていた。

「障害者福祉計画がちょうど改定のときで、ここまで出来たねと話します。意味づけというか。」

## IV. 考察

### 1. 新人保健師に対するプリセプターの関わり

先行研究において、新人保健師に対して実践の場で行動を共にしながら、保健師の活動理念や原則を言語化し伝授していくことの重要性<sup>4)</sup>が指摘されているが、本研究においてもプリセプターは新人保健師に対し、〈訪問に同行させ実際を見せる〉、〈事業運営を見せる〉、〈地区活動を見せる〉などプリセプター自身の保健師活動のあらゆる機会に新人保健師を同行させ、実際を見せることで【実践を通して保健師活動を伝承する】ようにしていた。また、プリセプターは新人保健師に同行し〈訪問先で状況に応じてサポートする〉など《訪問の実施を見守る》ことや、〈新人保健師が実施している事業に参加している住民の様子を観察する〉といった《事業の実施を見守る》など【新人保健師の実践を見守る】ようにしていた。約8割の新人保健師が職場内教育として事業の同行<sup>16)</sup>や同行訪問を経験する<sup>17)</sup>と報告されるが、プリセプターの保健師活動と新人の保健師活動の両方に同行が行われていることが明らかになった。同行は、その後の振り返りの場面における〈共に見た場面を通してアセスメントの視点を助言する〉につながっており、経験に向けた関わりが、振り返りの場面における関わりへとつながっていた。共に見た場面を通じた指導は、プリセプターにとっては説明がしやすく、新人保健師もどこを指摘されているのか理解しやすいことが考えられ、同じ場면을共有することは意義あるものであることが考えられた。

一方、本研究で明らかになったように、行動を共にできない場合には、振り返りに関して、〈訪問後

に報告をするように促す)や〈訪問記録を見ながら内容を確認する〉など、新人保健師の報告や記録を通して語り合い《実践内容を想起させる》ことで、経験を共有するようになっていた。これらは新人看護師のリフレクションに対する関わりである先輩が新人と一緒に看護実践を行う、模範となる行動を見せる、共に実践を振り返ると類似していた<sup>18)</sup>。

また、新人保健師は、先輩保健師と日常の保健師活動の実践場面について話し合うことにより、実践での自己成長や自己の課題の明確化を実感していると報告される<sup>19)</sup>。“すぐ隣で、ちょっとした時間”で活動を共にする場や時間を確保することの重要性が指摘される<sup>20, 21)</sup>が、本研究において、プリセプターは〈いつでも話しかけて良いことを伝える〉といった《話しやすい環境づくりを行う》ことや、〈移動中の車の中で話す〉のように《話す時間を作り出す》など話せる機会を積極的に作るようにしていることが明らかになった。日常業務の隙間の時間を利用していたことから、タイムリーに経験の共有と振り返りを行うためには事務所内でプリセプターを隣の席にするなど話しやすい職場内の環境づくりが必要だと考えられた。

さらに、新人保健師に対し、根拠に基づき<sup>22)</sup>、抽象的な表現ではなく具体的にかみ砕いて伝えること<sup>23)</sup>を意識する重要性が指摘されているが、本研究においても、プリセプターは《プリセプターの活動における意図を伝える》ようにし、振り返りにおいても《アセスメントのプリセプターの思考を共有する》ようにし、プリセプターがどのような意図で行動しているのかという思考と行動をつなぐプロセスを言語化して伝えていた。また、プリセプターは自身の実践場面において《プリセプターの活動に対する理解度を確認する》ようにし、新人保健師の実践の振り返りにおいても新人保健師に《アセスメントを確認する》ようにしていた。実践能力のレベルを客観的にアセスメントし、理解できたか否かが実践を通じた職場内教育であるOn-The-Job Trainingへの取り組みに重要<sup>24)</sup>とされている。経験を共有し、振り返りを行う際には、新人保健師の理解度を随時確認しながら、言語化し伝えることが重要であると考えられた。

## 2. 新人保健師のリフレクションに向けた関わりへの示唆

看護において過去の経験を活用し、援助につなげることが実践能力を高めるとされ、リフレクションは重要視されている<sup>25)</sup>。リフレクションの前提の1つに、経験の質と学習者が経験を意味あるものにする<sup>26)</sup>ことができ、教育者にはそれを促進することが求められる<sup>25)</sup>。本研究において、プリセプターは、個別支援、事業・企画運営、地区活動について、準備から丁寧に確認や助言を行い、《新人保健師の実践の過程をサポートする》ようにし、新人保健師の経験がより良いものになるよう、経験の質を高められるように働きかけていたと考えられる。また、新人保健師の職務に対する自信と力量形成には、日々の実践活動の積み重ね<sup>26)</sup>に加えて、その実践の振り返り、その実践の意味付けを行うこと<sup>17)</sup>が重要とされる。本研究においても、《新人保健師が実施している事業と地域づくりの関連を意味づける》など【新人保健師の実践に対する意味づけを行う】ようにしていた。また、自治体保健師の標準的なキャリアラダーの経験初期のキャリアレベル1において、求められる能力に「自己の成長を振り返り、次の成長につなげることができる」がある<sup>7)</sup>。新人保健師のリフレクションは、成長を確認し、課題への気づきや学習意欲向上への動機づけに効果があるとされる<sup>27)</sup>。本研究においても、プリセプターは、〈プリセプターの考えを言う前にアセスメントを考えさせる〉のように《新人保健師自身にアセスメントを考えさせる》など時間を与え、待つ姿勢でいることを心掛けていた。新人保健師が自分で気づきを得られるように、経験を吟味できるようにしており、新人保健師のリフレクションに働きかけていたと考えられる。

一方、自己に対する見方が否定的になりやすい青年期<sup>28)</sup>でもある新人保健師は、不安や自信のなさが報告され<sup>26)</sup>、自身の活動を一人で評価することは難しいことが伺える。そのため、能力の発揮を実感できるようなフィードバック<sup>29, 30)</sup>が求められているが、本研究においても、プリセプターは〈新人保健師の活動を評価する〉など《望ましい保健師活動に近づける関わり》によりフィードバックを行い、あるべき姿を示していた。プリセプターとの関わりを通して新人のときからリフレクションが習慣化されることで、評価の視点についても掴むことができ、自分

ができること、できないことを把握し、実践能力の向上につなげることができるのではないかと考えられた。

また、新人保健師自身が専門職として明確なビジョンを描きながら職務を遂行していく必要性を意識し<sup>31)</sup>、自ら責任を持って取り組む姿勢<sup>32)</sup>など主体的な努力を行う必要性も指摘されている<sup>20)</sup>。そのため、新人保健師はフィードバックを得られるよう自ら積極的にプリセプターに働きかけることや、プリセプターからの働きかけに対して、失敗を恐れず、自分の思いや考えを話す姿勢も大切になると思われた。プリセプターはリフレクションを促す際には主体性を引き出す関わりも求められると考えられた。

今後は新人保健師自身のリフレクションのプロセスを明らかにすることや、プリセプターによる関わりが新人保健師のリフレクションにどのように影響を与えているかを明らかにし、新人保健師のリフレクションを促す方法について検討する必要がある。

## V. 結 語

本研究において、新人保健師に対するプリセプターの関わりについて、新人保健師の経験の質を高める関わりは【実践を通して保健師活動を伝承する】【新人保健師の経験値を増やす】【新人保健師の実践の過程をサポートする】【新人保健師の実践を見守る】で構成され、振り返りに向けた関わりは【振り返りを促す環境づくりを行う】【実践内容を想起させる】【新人保健師のアセスメントの思考を促す】【望ましい保健師活動に近づける】【新人保健師の実践に対する意味付けを行う】で構成されていた。プリセプターは新人保健師に対し保健師活動の実践場面を共有し、理解度を確認した上で言語化して伝えることが重要である。また、新人保健師の主体的なりフレクションを促す関わりの必要性が示唆された。

## VI. 本研究の限界と今後の展望

本研究はプリセプターの視点から新人保健師の経験の質を高める関わりと振り返りに向けた関わりを明らかにしたにすぎない。今後は、新人保健師の視点から、新人保健師のリフレクションのプロセスを明らかにすることや、本結果のプリセプターの関わり

りが新人保健師のリフレクションにどのように影響をあたえているのか検証し、新人保健師のリフレクションを促す方法について検討していく必要がある。

## 謝 辞

本研究に協力してくださった各自治体の保健師の皆様、ご指導いただいた関係者の皆様に深く感謝いたします。本研究は開示すべきCOI状態はない。

## 引用文献

- 1) 宮崎美砂子, 北山美津子, 春山早苗. 最新公衆衛生看護学第2版総論, 第3版. 日本看護協会出版会 東京 2013; 2-14.
- 2) 厚生労働省. 平成15年度 新任期における地域保健従事者の現任教育に関する検討会報告書. [https://www.wam.go.jp/wamappl/bb14GS50.nsf/0/49256fe9001ace7b49256ec500224768/\\$FILE/siryu.pdf](https://www.wam.go.jp/wamappl/bb14GS50.nsf/0/49256fe9001ace7b49256ec500224768/$FILE/siryu.pdf) (参照2019-09-01).
- 3) 四方雅代, 佐伯和子. 自治体に働く新卒保健師の職務に必要な自己の能力についての認知と職場内現任教育に対する要望. 北陸公衆衛生誌 2003; 29: 58-63.
- 4) 田中美延里, 大西美智恵, 安梅勅江. 行政機関で働く新任保健師の力量形成に向けたニーズ関連要因に関する研究. 日本保健福祉学会誌 2005; 12: 43-56.
- 5) 厚生労働省. 平成14年度地域保健従事者の資質向上に関する検討会報告書. <https://www.wam.go.jp/wamappl/bb14GS50.nsf/0/49256FE9001ACE7B49256D32001732D5?OpenDocument> (参照2019-09-01).
- 6) 厚生労働省. 新人看護職員研修ガイドライン～保健師編～. <https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryu/oshirase/dl/130308-3.pdf> (参照2019-09-01).
- 7) 厚生労働省. 保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめ. <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10901000-Kenkoukyoku-Soumuka/0000120070.pdf> (参照2019-09-01).
- 8) 日本看護協会. 平成30年度厚生労働省先駆的保

- 健活動交流促進事業「保健師の活動基盤に関する基礎調査報告書」. [https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/2019/hokenshi\\_katsudokiban.pdf](https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/2019/hokenshi_katsudokiban.pdf) (参照2019-09-01).
- 9) 厚生労働省. 指導者育成プログラムの作成に関する検討会報告書. [https://www.wam.go.jp/wamappl/bb13GS40.nsf/0/8ba2fa45e1b771634925732200168cae/\\$FILE/20070725\\_1haifu2.pdf](https://www.wam.go.jp/wamappl/bb13GS40.nsf/0/8ba2fa45e1b771634925732200168cae/$FILE/20070725_1haifu2.pdf) (参照2019-09-01).
  - 10) 細谷紀子, 雨宮有子, 大光房枝. 市町村における新人保健師現任教育上のニーズ (第2報) 管理的立場からみた現任教育体制の現状と工夫に基づく検討. 千葉県立保健医療大学紀要 2014; 5: 49-57.
  - 11) 後藤順子, 菅原京子, 太田絢子. 山形県における行政に勤務する新任保健師の実践能力の向上. 山形保健医療研究 2018; 11: 14-29.
  - 12) 望月宗一郎, 山岸春江, 飯島純夫. 新任保健師への現任教育に対する市町村保健師の認識. 山梨大学看護学会誌 2007; 5: 19-24.
  - 13) 佐伯和子, 平野かよ子, 宮崎美砂子. 平成19年度厚生労働科学研究報告書「保健師指導者の人材育成プログラムの開発」. <https://mhlwgrants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=200738002B#selectHokoku> (参照2019-09-01).
  - 14) J Dewey. How We Think: a restatement of relation of reflective thinking to the educative process D.C. Health. 1933.
  - 15) B Reid. 'But we're doing it already!' Exploring a response to the concept of Reflective Practice in order to improve its facilitation. *Nurse Education Today* 1993; 13: 305-309.
  - 16) 山口佳子, 塚原洋子. 新任期に市町村保健師が感じる困難と効果的な対処方法の現状から見た現任教育のあり方. 杏林大学研究報告 2006; 23: 67-77.
  - 17) 菊池チトセ, 千田みゆき, 山路真佐子. 行政で働く新人保健師の新任期現任教育の現状-経験5年未満の保健師へのアンケート調査より-. 埼玉医科大学看護学科紀要 2016; 9: 63-72.
  - 18) 小林孝代, 小野ゆかり, 栗山真由美. 新人看護師のリフレクション体験と先輩看護師の関わり入職8ヶ月目の面接調査より. 日本看護学会論文集 看護総合 2002; 33: 12-14.
  - 19) 村松照美, 渡辺勇弥. 市町村新任保健師と熟練保健師の対話リフレクションの意味. 山梨県立大学看護学部紀要 2008; 10: 49-58.
  - 20) 山田小織, 越田美穂子. 新人保健師育成に向けたプリセプターの支援内容. 日本公衆衛生看護学会誌 2016; 5: 57-65.
  - 21) 山田美恵子. 保健師アイデンティティ確立に影響した体験とサポート要因 体験を経験化するプロセスの意義. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録 2011; 36: 261-268.
  - 22) 鈴木知代, 平井敦美, 蒔田寛子. 新人保健師の個人・家族支援能力向上のための研修の評価. 聖隷クリストファー大学看護学部紀要 2012; 20: 11-20.
  - 23) 岩清水伴美, 茂川ひかる. 子ども虐待ハイリスク家庭への継続支援の要点と課題-市町村保健師とのケース検討会から-. 聖隷クリストファー大学看護学部紀要 2013; 20: 1-13.
  - 24) 佐伯和子, 河原田まり子, 和泉比佐子. OJTでの人材育成を通しての現任教育を推進する職場の組織育成. 地域看護学会会誌 2009; 11: 52-58.
  - 25) 田村由美, 池西悦子. 看護の教育・実践にいかすリフレクション. 南江堂 東京 2015.
  - 26) 塩見美沙, 牛尾裕子. 兵庫県における保健師の臨床研修に必要な内容と体制-新任期・中堅期保健師のニーズをもとに-. 兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要 2012; 19: 55-68.
  - 27) 若杉里美. 新任保健師1年目の保健指導能力育成に関わる体験. 愛知医科大学看護学部紀要 2012; 11: 21-26.
  - 28) 岡本裕子. 成人発達臨床心理学ハンドブック. ナカニシヤ出版 2010.
  - 29) 浅野神奈, 和泉比佐子, 片倉洋子. 市町に勤務する新任保健師のメンタリングの受け止めとその関連要因の検討-メンタリングの受け止め, 個人的要因組織的要因に焦点を当てて-. 日本地域看護学会誌 2009; 11: 15-24.



- 30) 石崎順子, 関 美雪, 頭川典子. 保健師の保健計画・施策化能力～新人保健師の住民ニーズの把握に関する能力～. 埼玉県立大学紀要 2007 ; 9 : 47-53.
- 31) 大野昌美, 佐伯和子, 大倉美佳. 現任教育プログラム導入による新任保健師の対人支援能の発達 (第1報) 事例体験及び能力の自己評価からの検討. 北陸公衆衛生雑誌 2004 ; 31 : 11-17.
- 32) 池西悦子, 栗田孝子. 新任期保健師の問題解決能力の自己評価から見た現任教育についての一考察. 岐阜県立看護大学 2004 ; 2 : 123-127.

### Involvement of Preceptors Who Support the Experience and Reflection of Novice Public Health Nurses

Ayano KIJIMA and Takae MORITA

Community/Gerontological Nursing, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, 1-1-1 Minami Kogushi, Ube, Yamaguchi 755-8505, Japan

#### SUMMARY

**Purpose :** The purpose of this study was to clarify involvement of preceptors who support the experience and reflection of novice public health nurses.

**Method :** A focus group interview was performed for local public health nurses in Prefecture A who have experience as a preceptor. The collected data were analyzed qualitatively and descriptively.

**Results :** Total 12 public health nurses cooperated with the study. As for involvement of preceptors who promote the reflection of novice public health nurses, quality experience of public health nurses' activities consisted of [Transmit public health nurses' activities through practice], [Increase experience of novice public health nurse], [Support practice process of novice public health nurses] and [Watch the practice of novice public health nurses]. Moreover, reflection of experience consisted of [Develop environment to promote reflection], [Remind of practice content], [Promote novice public health nurses' thinking for assessment], [Get closer to desirable public health nurses' activities] and [Give meaning to public health nurses' practice].

**Discussion :** It is important for preceptors to share the practice scenes of public health nurses' activities with novice public health nurses, confirm their understanding degrees and verbalize things to be presented to them. Moreover, the importance of promoting independent reflection by novice public health nurses.

